



ひとにやさしく かんばりすぎずに継続し勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子！414名

【今回の学校だよりは、電子媒体のみでの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。()】



今日5年生は社会科見学で心を一つにしました。



5年生の仲間は病気で参加できなかったお友達のことを、気にしながらエコタウン北九州では「これはお友達のパンフレットパンフレット！」と言いながら、先生に渡してくれたり、いのちの旅博物館では「校長先生！お友達のガイドブックをもらいたいのですが、ありましたっけ」と私にささやいてくれたり、松葉杖で奇跡的に参加できたお友達に気を使って集合先の最後の最後に杖でその子が頑張ってる様子までその持っていてくれたお友達が「はい。リーフレット。」とわたしてくれたりしていたのを見て、今の6年生のように優しく素敵な心がそだってきているなあ。と感心しました。私は5年生のお友達全員に、「学校だよりのタイトルのように【共に仲良く】そして、今日、「見学先やお世話になる人々との出会いを大切に思う」そんな、社会科見学にしてほしいです。」と伝えておりましたのでメモをとったり質問したりする子ども達を見て立振る舞いがとても素敵で立派でした。とバスでの語り合いのONとOFFの使いわけも含めて99点だったと思います。残りの1点は、修学旅行で・・・。1点を取りに行くのではなく120% (点) になるくらいに、うれしかったり、思い合ったり、感動の涙を流し合う場面が幾度もあるくらい達成してほしいなと思いました。令和8年度(2026)にさらに正しい判断力を持った逞気ある行動で素晴らしい修学旅行にしてほしいなと感じました。誰かが皆さんの勇気を見届けて先生方に伝えてくださるに違いありませんから・・・。いろいろな場面で皆さんのお友達を思う姿忘れません。素敵な思い出ができました。ありがとうございました。()

P.S.お友達との素敵な写真は、響(びびき)写真館のプロカメラマンの宮部先生がネット販売をされるときいています。P.S. 風力発電の風車のプロの技術者の方は飯塚市のご出身で頼田小学校で小学生時代を過ごされていて飯塚市の子ども達と出会えてうれしそうにお話してくださいました。エコタウンの樽床次長様は「低炭素社会からゼロカーボン社会を目指していますので、ここに来た飯塚東小や昨日来た若松の中学校の皆さんが勇気をもって世界中のみんなと協力しようと呼びかけ続けてほしいですね。」とおっしゃいました。説明して下さった益田先生は「人は見かけじゃないのですよ。中身で勝負ですよ。魂ですよと子ども達に伝えてください。」とおっしゃいました。バスの中で子ども達が歌っていた「B'z / ultra soul ウルトラソウル (究極の魂) ~挑戦する心~」を聴きながら益田先生の唄だとつぶやきました。また、私は飯塚東小の5年生は究極の心で資源を大切にできる「資源循環型未来志向社会人」大人になると彼らの背中に感じました。

希望と失望に揺られて 激洗抜かれる Do it! [Ultra soul] 作詞: 稲葉浩志 作曲: 松本孝弘 song by B2





今日1年生もPTA親子活動で心を一つにしました。

◆ 残念なことに私が社会科見学で不在にしておりましたのでお写真は、鈴木聖子先生に写していただいたものを掲載させていただきました。友達やおうちの方と 楽しく素敵なお思い出がたくさんできたことと思います。『顔面セーフ』や『ジバンでセーフ』とかの勇敢な声掛けや『大丈夫?』と友達を思う姿も見られましたよ。』末永元校長先生からうかがいました。「来られなかったおうちの方もいらしたでしょう?」と私がお尋ねしましたところ、『はい、ご病気や家庭の事情やお仕事の都合でお見えになられなかったご家庭の分まで。私は頑張りを見届けてあげたいし、声が枯れるまで応援させてもらいました。』と服部良子先生から感動の言葉と瞳の輝きに『子ども達良かったね。』と思いました。江崎和彦先生に『写真はとれましたでしょうか?』と恐る恐る伺うと江崎先生は『私が、審判で全く写真が撮れるような状態ではなかったものですから、聖子先生にお頼みしてたくさん撮っていただきました。本当に助かりました。』というような先生方のたくさんの素敵な連携のコメントにほっと胸をなでおろしました。役員の皆様、今回サポーターエントリー制度(仮称)を申し出てくださった関係の皆様、関係のたくさんの先生方、ご参加の保護者やご家族、そして関係の皆様かわいい1年生の皆さんのためにご来校くださったり、わが子やわが孫を思いながら病でベッドに寝ていらっしゃる、わが子やわが孫を思いながらお仕事をごんばられたりされた関係の皆様心からの応援ありがとうございました。

